

経済広報センター「2015年度 教員の民間企業研修」受け入れ ～横浜市教育委員会より8名の教員が参加

平成27年8月6～7日の2日間、JISAは[一般財団法人経済広報センター](#)が実施する「2015年度 教員の民間企業研修」の受け入れを行い、横浜市教育委員会より派遣された横浜市内の小中学校の教員が参加した。参加者数は8名。

経済広報センターは、将来の日本を担う子どもたちの育成を図るため、「教育界と経済界とのコミュニケーションの促進」に力を入れている。「教員の民間企業研修」はその取り組みの一環として1983年から毎年行っているもので、小・中・高等学校の先生が夏休み期間中に、民間企業で様々な研修を受けるプログラムである。

一方 JISA はここ数年、事業計画において「社会、業界、教育界、マスコミ等への情報発信の強化」を方針として打ち出しており、その一環として広報委員会(委員長:原孝 JISA 副会長、(株)リンクレア 取締役会長)を中心に、小中高校における情報教育推進への取り組みを行ってきている。

今回の「教員の民間企業研修」受け入れは、そのような取り組みの一環として実施したものであり、協会として受け入れを行うのは4回目となる。なお、当業界ではこれまで、IT ホールディングスグループ TIS(株)、(株)NTT データ、(株)野村総合研究所などの JISA 会員企業が受け入れを行った実績がある。

研修は、「情報化社会を支える情報サービス産業とネットワーク社会における個人情報保護」と題して行った。プログラムの概要は以下のとおりである。

■1日目

社会における情報システムの重要性や、IT 社会を創る人材について理解を深めてもらうため、「暮らしや社会における情報システム」「情報サービスの仕事と IT エンジニアの職種・役割」について JISA 事務局が説明した。その後、広報委員会メンバーの新日鉄住金ソリューションズ(株)のシステム研究開発センター(横浜)を訪問し、デザイン思考、AR、最適化、データ活用など多岐に亘る研究開発の取組についてデモを交えたレクチャーを受けた。



HMD 着用による AR 体験

■2 日目

広報委員会メンバーの(株)シーエーシーを訪問。最初に IT サービスの基礎知識についてレクチャーを受け、その後ヘルプデスクセンター見学、お客様の電話対応のワークショップ、ワークスタイル変革の取組に関するレクチャーを行った。その後、JISA 事務所に移動し、ネットワーク社会における個人情報保護のあり方について JISA 審査業務部のプライバシーマーク審査員がレクチャーした。次に参加者が演習として学校を想定した「個人情報保護の特定」と「リスクアセスメント」に取り組み、演習の成果を発表。最後に学校における個人情報保護等についてフリーディスカッションを行った。



ヘルプデスクセンター見学

研修に参加した教員の皆さんには、今回の研修で学んだことを活かし、子どもたちに社会における情報システムの重要性や IT 社会を創る仕事の大切さ・面白さを教えるとともに、IT の利活用による教育の高度化や学校事務の効率化に取り組んでいただくことを期待したい。

(田畑)